

紫波医報

令和7年1月号

No. 247



一般社団法人紫波郡医師会

- URL: <https://shiwa-med.jp/>
- E-mail : ishikai@shiwa-med.jp
- TEL : 019-611-2211 ● Fax : 019-611-2216

◇ 巻頭言「年頭所感」	… 野崎 有一 先生	2
◇ 定例理事会報告	…	3
◇ 会務報告（7～12月）	…	4
◇ 講演会・研修会	…	5
◇ 表彰	…	6
◇ 会員の異動	…	6
◇ 第54回岩手県医師会親睦ゴルフ大会	… 佐藤 典子 先生	7
◇ エッセイ「盛岡シティーマラソン参戦記」	… 早坂 朗 先生	9
◇ エッセイ「春歩」	… 伊藤 信一 参事	11
◇ 紫波郡地域包括ケア推進支援センターから	…	12
◇ 編集後記	… 齊藤 恵 先生	14
◇ いわて医師協同組合広告	…	15

◇表紙のことば

写真：盛岡城址公園の春 /撮影日 2024年4月15日

4月の晴れた朝、カメラを持って内丸界限を散策します。

写真は、本丸東南の門の桜。

朝の光を浴びた桜は清々しく格別に美しく感じます。

（エッセイにて散策コースを紹介させていただきました）

紫波郡医師会会長付参事 伊藤 信一
（紫波郡地域包括ケア推進支援センター所長）



「年頭所感」

紫波郡医師会 副会長 野崎 有一

とうとう 2025 年を迎えた。昭和を支えてくれた団塊の世代がすべて 75 歳を超える。2025 年問題と言われてきて久しいが、一見なにも変化なく穏やかに迎えているようにも思える。しかし、どこの業種でも労働者の採用は困難になっている。実際、当院でも看護師さん、臨床検査技師さん、事務員さんの欠員補充が大変であった。岩手県のような過疎と高齢化の進む地域では待ったなしの問題である。一方、再就職先を探しても介護職、掃除婦、警備員などの選択肢しかないと聞く。INとOUTのバランスが悪すぎる。所得税の課税基準の壁が、178 万円に引き上げられ、少しでも労働力の供給になれば良いのだが、焼け石に水か。

加えて患者さんの高齢化が著しい。一病息災どころか、多病の災難をかかえている。医療が複雑化し、ニーズも多様化、コンプライアンス遵守云々。日常の診療も気を抜ことができない。必然的に時間に追われることになり余裕がなくなる。そんな時、きまぐれにエゴサーチしてしまうと言いたい放題に批判されている。もう少し褒めてくれてもいいのではないかなと心が折れそうになる。さらに働き方改革の恩恵は従業員だけで、我々医師は患者指導の計画書などのタスクが増えるばかり

かである。いっそ使われる身に戻ろうか。還暦を過ぎ体力も衰えてきた。開業時の医療機器もがたが来ている。買い換えをどうしようか？無駄な機械を買うよりも、医療クラークがほしいと思う今日この頃でもある。クレーム対策の AI ならよいかも。医大卒業同期でも鬼籍に入る方ちらほら。そんなこんなで立ち去り型サボタージュが頭をよぎる。今後のことをじっくり考えねばならない。

とはいえ、紫波地域診療センターの閉院などが決まり、医療環境の変化にも待ったなしで対応しなければならない。若い生きの良い人が開業してくれば良いなと思いつつ、なにか明るい話題はないものか探してみるが見当たらない。現在のところ紫波郡は、矢巾に岩手医科大学病院を有し、快く急患を受けてもらっている。沿岸部や県北部に比べ恵まれている。

あらら新年冒頭から少々愚痴が過ぎたようだ。小生、物を書くのが拙いのでお許しください。とにかく過去を振り返ることなく、未来を不安視せず、淡々と日々の仕事をこなすのみである。

皆様、コロナにもインフルエンザに負けずに覚悟して本年も地域医療を支えていきましょう。

◇ 定例理事会報告

第4回定例理事会（7/22）

(1)令和6年度秋開始予防接種について

町からの助成金額は、インフルエンザ2,200円、新型コロナ3,500円とし、矢巾町の75歳以上無償化を廃止。令和8年度より、予防接種記録とマイナンバーカードが連携開始。

(2)不来方高校・盛岡南高校統合後の学校医について

岩手県教育委員会が、現在の学校医に継続の可否を問合せ中。その後医師会にて調整予定。

(3)矢巾町ロードレース大会医師派遣について

10/6の大会について医師・看護師の派遣要請あり。昨年同様、堀江 圭先生の派遣を承認。

(4)日医会員情報システムMAMISについて

今までの届出用紙（入会・異動等）が廃止となり、個人でWEBから諸手続きが可能となる。

(5)新入会について承認

(6)岩手県医師会親睦ゴルフ大会 8月18日（日）メイプルカントリークラブ

参加者：徳永三郎先生、箱崎誠司先生、早坂 朗先生、佐藤典子先生、徳永花蓮先生

岩手県医師会ソフトボール大会視察 9月22日（日）石鳥谷ふれあい運動公園

参加者：加藤博巳先生、野崎有一先生、菅原事務局長、鈴木職員、鈴木康介君 その他

第5回定例理事会（8/19）

(1)広域予防接種における高齢者コロナワクチンについて委任状の再提出要請。

(2)HPVワクチンのキャッチアップ接種の終了に伴う措置について9月までに接種開始を推奨。

(3)次期経営計画における県立地域診療センターの方向性について最終案の公表は12月。

(4)紫波中央駅周辺地区整備事業について新規建築費用の半額を助成する事業概要の提示。

(5)日本赤十字社岩手県支部の活動資金支援の依頼について個人へ委ねる。 その他

第6回定例理事会（9/9）

(1)令和7年度5歳児健診を矢巾町が先行開始することについて医師派遣の体制検討。

(2)紫波町介護認定審査会委員について、来年度辞退者1名の補充について検討。

(3)日報「世界アルツハイマーデー」認知症支援企画「スローショッピング」について県医協賛。

(4)令和7年度休日救急当番医について当番表の作成を担当理事へ依頼。

(5)岩手県最低賃金893円→952円引上げに伴う事務局賃金の改定について検討。その他

第7回定例理事会（10/21）

(1)岩手県医師会災害・救急救護連絡協議会委員の委嘱について加藤博巳会長を推薦。

(2)岩手県知事表彰等受賞者について

(3)母体保護法指定医師更新申請について10/16付で承認。

(4)紫波町・矢巾町〔国保〕特定健診R7料金について盛岡市医師会を参考。

(5)紫波町・矢巾町学校医・保育園嘱託医の継続と委託料の承認について

(6)令和7年度幼児健康診査・令和8年度紫波町5歳児健診の開始について

(7)岩手日報「一関・盛岡駅伝競走大会」救急車両同上医師について堀江先生を推薦。その他

第8回定例理事会（11/18）

(1)岩手医科大学睡眠医療学科講演会の後援について（R7年2月開催）承諾。

(2)紫波町・矢巾町幼児健診委託料の見直しに係る要望書についてR7年度8月を目途に提出。

(3)入会時負担金・継承・慶弔規約の見直しについてR7総会時提出案件を協議。

(4)上半期決算について

(5)事務局の賃金改定に伴う就業時間の変更について その他

第9回定例理事会（12/16）

(1)R7・R8紫波町国保運営協議会委員について加藤博巳先生、松尾 力先生を推薦。

(2)矢巾町・南昌みらい高校学校医について

(3)かまやちさとし先生サポーター名簿提出依頼について その他

◇ 2024 会務報告 (7~12月)

日	曜	行事名	場所	時刻	出席者
7/1	木	紫波町・矢巾町秋開始予防接種説明	加藤胃腸科内科医院内	17:20	加藤、事務局
7/7	日	岩手県医師会総会・医学会評議員会 (9:15)	メトロポリタン盛岡NW	9:30	関、木村、野崎、伊東
7/11	木	岩手県医療局・紫波地域診療センターに係る説明	加藤胃腸科内科医院内	17:20	加藤、事務局
7/22	月	第4回定例理事会(会費制)	中ノ橋通東屋九十九草	18:45	理事
7/25	木	紫波町・矢巾町コロナ・帯状疱疹説明	加藤胃腸科内科医院内	17:20	加藤、事務局
7/29	月	盛岡医療圏入院体制連絡会議	WEB開催 (CC南昌)	17:30	伊藤、事務局
7/30	火	連携：「入退院支援」に係る研修会	さわやかハウス2階	14:00	多職種
7/30	火	盛岡救急医療人のつどい (盛医主催)	盛岡グランドホテル	19:00	藤島、直島
8/3	土	第1回郡市医師会長協議会	岩手県医師会館	16:15	加藤
8/5	月	矢巾町医療介護連携事業説明	ケアセンター南昌	13:30	事務局
8/18	日	岩手県医師会親睦ゴルフ大会	メイプルカントリーC	8:00	箱崎、早坂、徳永(三)、徳永(花)、
8/19	月	第5回定例理事会	CC南昌/ハイブリット	19:00	理事
8/22	木	第1回盛岡圏域自殺対策推進連絡会議	盛岡地区合同庁舎8階	14:00	松尾欠席
8/28	水	第1回盛岡地域医療連携推進 (地域医療構想) 会議	県庁12階特別会議室	18:30	加藤
8/31	土	岩手県医師会広報委員会	岩手県医師会館	15:00	早坂
8/31	土	岩手県医師会女性医部会	岩手県医師会館	16:00	佐藤(典)
8/31	土	社保新規指定時集団指導	WEB視聴	時間指定	平井医院
9/3	火	紫波町・矢巾町5歳児健康診査に向けた連絡会	さわやかハウス2階	19:00	小児科5名
9/9	月	第6回定例理事会	CC南昌/ハイブリット	19:00	理事
9/13	金	盛医「救急医療学術講演会」	盛岡グランドホテル	19:00	藤島、成田
9/14	土	岩手県医師会診療所部会幹事会	岩手県医師会館	15:30	鈴木
9/19	木	連携：「急変時の対応」に関する研修会	ケアセンター南昌5F	14:00	消防・多職種
9/20	金	盛岡地域県立病院運営協議会	岩手県立中央病院	15:00	加藤欠席
9/22	日	岩手県医師会ソフトボール大会視察 (懇親会参加)	CC南昌集合、石鳥谷～	10:30	加藤、野崎、事務局
10/5	土	第2回郡市医師会長協議会	岩手県医師会館	16:15	加藤
10/6	日	矢巾町ロードレース大会医師派遣	矢巾町体育館	8:00	堀江
10/12	土	岩手県医師会産業医研修会	岩手県医師会館	14:00	産業医
10/17	木	連携：「日常の療養支援」に係る研修会	CC南昌/ハイブリット	18:30	加藤、野崎、多職種
10/17	木	日医会員情報システムMAMIS研修会	日医よりWEB配信	11:00	事務局
10/21	月	第7回定例理事会	CC南昌/ハイブリット	19:00	理事
10/24	木	岩手県医師連盟会長 本間先生との座談会	CC南昌/ハイブリット	13:30	野崎、木村、藤島、鈴木、石川、西城
10/25	金	矢巾町成年後見制度利用促進審議会	さわやかハウス2階	10:30	木村
10/25	金	日医会員情報システムMAMIS研修会	日医よりWEB配信	10:30	事務局
10/29	火	盛医「外来感染向上加算」研修	岩手県医師会館/WEB	19:00	会員
11/3	日	地域包括診療科加算・診療料かかりつけ医研修会	岩手県医師会館	9:30	会員
11/3	日	紫波町表彰 城戸正美先生受賞	ラフランス温泉館	10:00	城戸
11/7	木	岩手県医師会生涯教育委員会	岩手県医師会館	19:00	野崎
11/8	金	郡市医師会事務研修会	岩手県医師会館	15:00	事務局
11/9	土	岩手県糖尿病対策推進会議総会	岩手県医師会館	14:00	関
11/12	火	岩手県医師会女性医部会と医大学生との懇談会	アートホテル盛岡3階	18:30	佐藤(典)
11/18	月	第8回定例理事会	CC南昌/ハイブリット	19:00	理事
11/20	水	岩手県保健医療功労者知事表彰式	エスポワールいわて	15:00	藤島(幹)
11/23	土	一関・盛岡駅伝競走大会医師派遣 (北上～盛岡)	友愛病院集合	8:45	堀江
11/29	金	盛岡地区二次救急医療対策委員会	盛岡グランドホテル	19:00	加藤
11/29	金	岩手県立中央病院地域医療連携委員会	県立中央病院	18:00	(重複)
12/4	水	連携：「認知症かかりつけ医対応力向上研修」	CC南昌/ハイブリット	18:30	会員、多職種
12/7	土	第3回郡市医師会長協議会	岩手県医師会館	16:00	加藤
12/10	火	紫波町・矢巾町5歳児健康診査に向けた連絡会	ケアセンター南昌	19:00	小児科医5人
12/14	土	連携：「アドバンスケアプランニング研修会」	CC南昌/ハイブリット	14:00	加藤、多職種
12/16	月	第9回定例理事会 (会費制)・医師連盟説明会	中ノ橋通東屋九十九草	18:45	本間会長・役員
12/17	火	岩手産業保健総合支援センター盛岡窓口運営協議会	盛岡市医師会館	19:00	加藤
12/18	水	社会保険個別指導立会	対象医療機関	13:30	加藤

◇ 講演会・研修会

7/30 (火) 紫波郡医療介護連携入退院支援・連携研修会

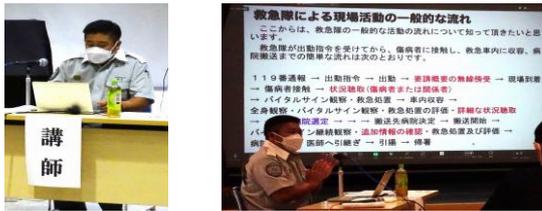


矢巾町さわやかハウス 14:00 参加 49名

講師：
岩手医科大学看護学部 准教授 伊藤 奈央 先生

事例発表：4例
岩手医科大学付属病院 看護師 近江 聖子 氏
南昌病院 入退院支援看護師 武田 和弘 氏
こずかたケアプランセンター 管理者 三上 文代 氏
訪問看護ステーションやはば 管理者 坂本 由美子 氏

9/19 (木) 紫波郡医療介護連携急変時対応研修会



ケアセンター南昌5階ホール 14:00 参加 37名

講師：
盛岡南消防署矢巾分署分 署長代理 藤原 光義 氏

10/17(木)紫波郡医療介護連携日常療養支援研修会



ケアセンター南昌5階ホール/ハイブリット14:00 参加69名

座長：
野崎内科・神経内科医院 院長 野崎 有一 先生

講師：「内科よもやま話」
加藤胃腸科内科医院 院長 加藤 博巳 先生

座談会：
にいやま荘居宅介護支援事業所 廣田 淑 氏
しわ訪問看護ステーション虹管理者 村中 緑 氏
訪問介護事業所あんどけあ管理者 山本 秀太郎 氏

12/4 (水) かかりつけ医認知症対応力向上研修会



ケアセンター南昌5階ホール/ハイブリット14:00 参加74名

テーマ「認知症における精神科医療と地域の連携」
話題提供：2例

矢巾町地域包括支援センター 所長 吉田 均 氏
訪問看護ステーション結いの手 管理者 飯嶋 純一 氏

指定討論：
精神保健指定医（岩手県精神保健福祉センター所長） 遠藤 仁 先生

まとめ：
岩手県基幹型認知症疾患医療センター副所長（岩手医大老年科分野講師）石塚 直樹 先生

全体コーディネーター：
岩手医大内科学講座脳神経内科・老年科分野助教 赤坂 博 先生

12/14 (土) 紫波郡医療介護連携 ACP研修会



ケアセンター南昌5階ホール/ハイブリット14:00 参加65名

座長：
加藤胃腸科内科医院 院長 加藤 博巳 先生

講師：「アドバンスケアプランニングについて一緒に考えてみましょう」
岩手医大医学部緩和医療学科特任教授 木村 祐輔 先生

*** 表彰 ***

- ◆ 岩手県医師会長表彰（役員功労） 令和6年 7月 7日
三愛病院附属矢巾クリニック 藤島幹彦先生

- ◆ 岩手県医師会長表彰（地域功労） 令和6年 7月 7日
平和台病院 中島國博先生

- ◆ 厚生労働大臣表彰（国民健康保険功労） 令和6年10月21日
岩手県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
南昌病院 市川隆先生

- ◆ 紫波町表彰（学校医） 令和6年11月 3日
志和診療所 城戸正美先生

- ◆ 岩手県知事表彰（保健医療功労） 令和6年11月20日
三愛病院附属矢巾クリニック 藤島幹彦先生

◇会員の異動

日付	内容	所属	氏名	摘要
R6.4.1	異動	あいのの皮フ科クリニック	齊藤 恵 先生	現住所変更
R6.7.31	日医退会	介護老人保健施設 白鷺	伴 弘 先生	日医A→県医までB
R6.8.1	異動	自宅会員	伴 弘 先生	施設休業
R6.8.1	入会	南昌病院	木村 尚人 先生	盛岡市医師会より
R6.7.31	退会	自宅会員	吉岡 尚文 先生	
R6.10.1	異動	医療法人社団しわみらい会 紫波整形外科クリニック	多田 広志 先生	法人化
R6.11.28	異動	南昌病院	加藤 幸三 先生	現住所変更

「第 54 回岩手県医師会親睦ゴルフ大会に参加して」

南昌病院 佐藤 典子



県医師会親睦ゴルフ大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い延期になっておりましたが、2024年8月18日に4年ぶりに県医師会主催により総勢81名の参加でメイプルカントリークラブにて行われました。大会当日の朝は曇り空で比較的過ごしやすく感じられましたが、日中の気温は32度を超え湿度も高く、猛暑の中でのゴルフ大会となりました。

紫波郡医師会からは徳永三郎先生、箱崎誠司先生、早坂朗先生、今年会員になられた整形外科医の徳永花蓮先生、そして私の5名の参加でした。紫波郡医師会単独でチームが組めたのは久しぶりで、特に花蓮先生は初参加でしたが学生時代ゴルフ部に所属していたこともあり、即戦力となり活躍していただきました。



亀井俊也県常任理事の開会宣言で始まり、小泉嘉明副会長より久しぶりのゴルフ大会であり奮闘を期待するとのご挨拶がありました。瀬川郁夫競技委員長から

はルール説明の他、紫外線が強い時期の日焼け止めが大切であると皮膚科医であるご立場からの素敵なアドバイスもありました。

プレーは朝8時のサイレンとともにシヨットガンスタートで始まりました。全組キャデイ付きのゴルフでしたので、コースレイアウトやグリーンへの傾斜、芝目は事細かに教えていただきました。が、思うようにいかないのがゴルフで、私はドラコンホールからのスタートで狙いどころを聞いていたにも関わらず、ギャラリーも多く緊張でかんでしまい、ティーショットは大きく左に曲がってOBギリギリのラフへ・・・先が思いやられる感じでスタートしました。また18ホールスループレーに慣れていない上、徐々に蒸し暑くなり集中力が続かなかったため、ホールアウトするまでとても長く感じました。どの先生も汗をふきながら必死にプレーをしていましたが、途中の茶屋ではかき氷やスイカの提供があり、体をひやししながらホッとごむ場面もありました。

懇親会は医師会ごとのテーブルで豆乳冷麺、盛岡冷麺、わんこそばなど冷たいおそばが振舞われ、種々のおつまみも準備されており、結果が出るまで飲みながらみんなで楽しく親睦を深めあうことができました。



結果は個人戦では徳永三郎先生が全国医師会ゴルフ大会予選会において見事2位で予選通過しましたが、残念ながら御辞退され3位である盛岡市医師会の金子博純先生が繰り上がりました。団体戦ではわが紫波郡医師会は盛岡市、一関市医師会に次いで3位（2位と0.6差）と少ないメンバーながらみんな健闘しました。

最後に亀井俊哉常任理事より次年度も岩手県医師会主催で開催する方針で、5月18日にメイブルの仮予約をとっていると報告がありました。次回も上位を（できれば優勝？）目指してまた来年の再会を祈念し閉会となりました。



◇エッセイ

「盛岡シティマラソン参戦記」



紫波中央眼科 早坂 朗

2024年10月27日(日)盛岡シティマラソンに参加しました!!今回はファンラン12.2kmに参加しました。10km以上走るのは高校時代のマラソン大会以来のことで、普段走ることがない自分にとっては未知の領域です。準備から大会参加までどんな感じだったかご紹介させてください。

【準備編】

大会にエントリーしないことには参加できません。マラソン大会にエントリーするにはRUNNETというサイトに登録しないと参加出来ません。登録にひと手間かかりますが、1回登録すれば全国各地のマラソン大会にエントリー出来るようです。

次に走るための装備です!思いつくのはランニングウェア、ランニングシューズくらいでしょうか?ウェアはジムで普段来ているもので大丈夫かな?シューズはスニーカーで大丈夫かな?と思いましたが、やっぱり専用のランニングシューズが欲しい!と思い専門店に買いに行きました。ちょうど中学生の息子が今年駅伝に出たので、その時に買いに行ったお店に。店員さんが走りに関して専門的で、走りに熱い思いがあり、大満足の買い物が出来ました。

あとは走れる肉体ですね。普段ゴルフはしていますが、ゴルフではあまり走りません。ジムは毎週行っていますが主に体幹トレーニングで、ほとんど走っていません。時間を作って走るのは大変なので、ゴルフの時に出来るだけカートに乗らずラウンドし、走れる時は出来るだけ走ってみることにしました。ジムに行く時には、ちょっと

遠回りして走ってジムに行くことにしました。これを大会の1~2か月くらい前から実行することで、週に2~3回ですが、1日2~3km走るようになりました。だんだんと息切れがしなくなり、足取りも軽くなったような気がします。結局本番まで12.2kmを通して走ることはなく、長い距離を走るのはぶっつけ本番となりました。



【大会当日】

ルートは北銀ボールパーク(スタート)→盛岡八幡宮(ゴール)でした。

スタート地点には出店などがあり、賑やかな雰囲気でした。大会参加者はフルマラソン約6,000人、ファンラン約2,000人でした。緊張している方、リラックスして楽しそうな方、仮装している方、多種多様です。県外からの参加も多かったようです。

先にフルマラソンがスタートし、20~30分程後にファンランのスタートです。スタートの前には、大会に参加するゲストランナーや各局アナウンサー、大会スポンサー等の挨拶があり大会を盛り上げてくれていました。

いよいよ私が参加するファンランのスタートです。初めての参加なのでよく訳が分からない状態のままスタートしました。ジムのトレーナーから長距離は、軽く会話をできる位のスピードで走るのが良いと聞い

ていたのので、妻と話しながら走りだしました。妻はジムでよく走っているのので、走るペースは終始私に合わせてもらいました。普段の仕事のことや、子供のこと、日常会話をしながら走れたのは良かったです。いつも以上に色々なことが話せたように思います。

スタートから 2~3 km は走り始めた緊張もあるのか、本当にあっという間に過ぎました。普段の練習も大体 2~3 km の距離だったので、疲れもほとんどなく気持ちよく走れました。4~5 キロ地点からだんだんと市街地に入り、応援が増えてきました。印象に残っているのは園児・小学生のチアリーダー、車いすで並んで応援してくれたご老人の方々、盛岡一高の応援団、河南中学校の応援団、さんさ踊りの団体等、沢山の個人・団体の方々が応援してくれて、こちらが応援に反応すると皆さんも反応してくれて、それが力になりました。

いよいよ 10 km 過ぎたころに足が重くなってきました。辛くなってきた時の上り坂がボディブローのように徐々に効いてきます。それでも皆様の応援を受けると力が湧き『頑張るぞ!!』という気持ちになるので、応援の凄さを感じました。ゴールの八幡宮の鳥居が見えた時は嬉しく思いましたが、妻がスピードアップしだして『おいおい!』と思いました。最後は二人並んでゴール出来、達成感で満たされました。

ゴールした後は、記念品をいただき、早速飲むヨーグルトを 1 本飲み、美味しさに感動しました。ゴール地点にいたタレントの方を見つけ、一緒に記念写真を撮っていただき、ちょっと休んでから歩いて帰宅することになりました。帰り道の途中、牛タン屋さんでビールと牛タンで完走の乾杯をしましたが、走った後のビールは最高でした。普段あまりアルコールは飲みませんが、

このビールと牛タンのためなら毎回大会に参加しても良いと思えるくらい美味しかったです。この感じだったらフルマラソンは?と問われましたが、フルマラソン参加の皆さんは、ファンランを終えてビール・牛タンを楽しんでいる時間もまだ走っていることを考えると、それはきつ過ぎるなと思わざるを得ません。ビール・牛タンを堪能した後は、ケーキ屋さんに寄ってケーキをゲット。走った以上のカロリーを摂取してしまいましたが、気分は爽快でした!!

翌日筋肉痛はありましたが、普段通りに仕事も出来ましたし参加可能であれば毎年参加したいなと思っております。全員にお勧め出来るわけではありませんが、参加したいなと思ってくれた方は是非ご相談ください!一緒に走りましょう!!



〔完走直後!〕



〔天津木村さんと〕



〔参加賞〕



〔乾杯!〕



◇ エッセイ

「春 歩」

紫波郡医師会会長付参事 伊藤 信一
(紫波郡地域包括ケア推進支援センター所長)

4月の晴れた朝、カメラを持って内丸界限を散策します。

まずは石割桜①。朝は某国の声の大きい皆さん会うこともなく、静かにゆっくりとエドヒガンザクラの老木を観ることができます。

次に向かうのは県営駐車場脇の亀ヶ池。駐車場側の桜並木も見事ですが、ここは何ととってもスーパゲッティ「モンタン」の裏。池に映る桜と岩手県庁と桜②を楽しみます。桜山のお店も時代とともに変わり、最近では若い経営者のお店が増えて以前とはまた違ったお酒を楽しめる場所となっています。

桜山神社に参拝した後、サンビル側の武徳殿跡の枝垂れ桜③を楽しみ、坂を上って盛岡城本丸へ。

本丸は一段高い場所にあり、桜並木を上から眺めることができます。まるで花の海。西に目をやると、タイミングがよければ緑に光る新幹線を見ることができます。

さて次は階段を降りて、南側から東側の桜の花の下をゆっくり歩きます。子供たちもお母さんと一緒④で楽しそうです。写真

を撮りながらぶらりぶらりしていると、いつの間にか本丸東南の門の桜にたどり着きます。表紙の桜はこの桜です。おそらく開花宣言をする時の桜ではないでしょうか。この桜の下で夕暮れにお酒をいただきながら眺める桜は幻想的で言葉もないのですが、朝の光を浴びた桜は清々しく格別に美しく感じます。

更に散歩は続き、広場を過ぎて神社の南側の階段を登り、石川啄木の歌碑⑤と岩手山⑥を眺めに向かいます。新築した教育会館の高さが低くなり、岩手山が見えるようになりました。啄木が眺めた岩手山かと思うと、ビルが低くなるのは良いことなのかもしれません。最近の盛岡は高層マンションやホテルの建築ラッシュで「なんだかなあ…」です。

とりとめのないお話にお付き合いいただきありがとうございました。

盛岡城跡公園に名前が変わりましたが、いまだに私にはたくさんの思い出がある「岩手公園」界限です。いつまでも今の姿を残してほしいものです。

(令和6年4月15日撮影)



① 石割桜



② 亀ヶ池に映る桜と県庁



③ 旧武徳殿跡の枝垂れ桜



④ 桜の下の子



⑤ 石川啄木の歌碑



⑥ 岩手教育会館と岩手山

紫波郡地域包括ケア推進支援センターから

～ 紫波町・矢巾町共同設置（愛称：れんけい紫波郡）～

紫波郡医師会の皆様には、当支援センターの主催する多職種連携研修をはじめ、事業の実施にあたり、御理解と御協力をいただいております。厚く御礼を申し上げますとともに、令和7年も地域包括ケアシステムの構築や医療・介護連携の推進に、引き続き御支援をお願い申し上げます。

◆ 令和6年中の主な取組み及び今後の予定

- 1 紫波郡医師会、紫波・矢巾両町をはじめ、医療・介護関係者や関係機関・団体等との連携のもとに、在宅療養の医療介護資源（サービス提供事業所、マンパワー）の拡充や担い手の疲弊防止、多職種連携、ネットワークづくりなどに取り組んでいます。
- 2 紫波町及び矢巾町における在宅医療と介護の連携等の推進に係る事項を協議するために設置されている「紫波郡地域包括ケア推進協議会（会長：紫波郡医師会顧問 木村宗孝先生）」において、主に次のとおりの報告等を行いました。
 - (1) 令和5年度第2回紫波郡地域包括ケア推進協議会：令和6年2月15日紫波町役場にて開催
（主な協議内容）
 - 令和5年度地域包括ケア推進支援センターの実績報告について
 - 令和5年度の紫波町・矢巾町における地域包括ケア（認知症支援・介護予防事業抜粋）の事業実績（見込）について
 - ワーキンググループの進捗について
 - (2) 令和6年度第1回紫波郡地域包括ケア推進協議会：令和6年8月5日矢巾町保健福祉交流センター（さわやかハウス）にて開催
（主な協議内容）
 - 令和6年度紫波郡地域包括ケア推進協議会の取組について
 - 令和6年度紫波郡地域包括ケア推進支援センターの取組方向について
 - 紫波町・矢巾町における令和6年度の地域包括ケア（認知症支援施策・介護予防事業抜粋）の事業計画について
 - 紫波郡地域包括ケア推進協議会ワーキンググループ（以下「WG」）について
「4つの場面における地域包括ケアのあり方に関する報告書」の説明、取組の共有
※ 紫波郡地域包括ケア推進協議会にWGを置き、日常の療養支援、入退院支援、急変時の対応、看取りの4つの場面ごとに、現状と課題、必要な対応等を取りまとめたもの。紫波郡医師会から、野崎内科・神経内科院長の野崎有一先生に委員として就任していただき、貴重なご意見をいただいております。
 - (3) 今後の主な予定（令和7年1月～令和7年3月）
令和6年度第2回紫波郡地域包括ケア推進協議会
（令和7年2月27日（木）18：30から）
 - ・令和6年度事業報告等

◆ れんけい支援セットについて

令和6年12月に、紫波郡内の医療機関の皆様には、れんけい支援セットのチラシ、わたしの安心連絡カード等をまとめたリーフレット及びチラシスタンドをお送りいたしました。

今後、一人暮らしの高齢者等の増加が見込まれる中であって、日頃の受診、入退院などの際に、ご家族やケアマネジャーの連絡先、心身の状況等の必要な情報を円滑に共有できるようにする必要があることから、広く周知を図ろうとするものです。

紫波郡医師会の皆様には、お手数をお掛けいたしますが、待合室等への配置や掲示などについて御協力いただければ幸いです。

なお、紫波郡歯科医師会並びに盛岡薬剤師会（紫波郡内薬局）からも、チラシ等の配置に御協力いただいております。

◆ 研修会実施状況について

5つの研修会を開催し、延べ294人の参加をいただきました。開催に当たり、お忙しい中紫波郡医師会の皆様に御協力いただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

研修名	研修内容及び講師等	主な対象者	参加者数	開催日時等
1 入退院等 支援・連携 研修	<p>入退院時の基本的な対応の理解を深めるとともに、独居高齢者や高齢者のみの世帯の者の現状と課題の共有、必要な取組を協議することにより、円滑な入退院の促進に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講師 岩手医科大学看護学部 准教授 伊藤 奈央先生 ○ 事例発表 岩手医科大学附属病院 看護師 近江 聖子氏 南昌病院 入退院支援看護師 武田 和弘氏 こずかたケアプランセンター 管理者 三上 文代氏 訪問看護ステーションやはば 管理者 坂本由美子氏 	紫波町・矢巾町内の医師、歯科医師、看護師、介護支援専門員等の医療・介護従事者、保健師、地域包括支援センター職員や行政職員等	49人 会場参加のみ	7月30日(火) 14時～16時 矢巾町さわやかハウス
2 急変時の対応に関する研修	<p>独居高齢者や高齢者のみの世帯などの急変時の対応について、救急現場における現状や課題を共有し、急変時に速やかに対応できる在宅療養環境の確保を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講師 盛岡南消防署矢巾分署 分署長代理 藤原 光義氏 	紫波町・矢巾町内の医師、歯科医師、看護師、介護支援専門員等の医療・介護従事者、保健師、地域包括支援センター職員や行政職員等	37人 会場参加のみ	9月19日(木) 14時～15時30分 ケアセンター 南昌 南昌ホール
3 日常の療養支援に関する研修	<p>独居高齢者等の医療と介護の現状等について、在宅療養支援に携わる医療・介護関係者の理解を深め、在宅療養支援の推進に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講演 加藤胃腸科内科医院 院長 加藤 博巳先生(紫波郡医師会会長) 演題「内科よもやま話」 ○ 座長 野崎内科・神経内科医院 院長 野崎 有一先生(紫波郡医師会副会長) ○ 独居高齢者等の在宅療養・介護座談会 加藤胃腸科内科医院 院長 加藤 博巳先生 にいやま荘居宅介護支援事業所 管理者 廣田 淑氏 しわ訪問看護ステーション虹 管理者 村中 緑氏 訪問介護事業所あんどけあ 管理者 山本秀太郎氏 	紫波町・矢巾町内の医師、歯科医師、看護師、介護支援専門員等の医療・介護従事者、保健師、地域包括支援センター職員や行政職員等	69人 (会場参加) 41人 (Web参加) 28人	10月17日(木) 18時30分～20時 ケアセンター 南昌 南昌ホール ハイブリットにより開催
4 かかりつけ医等認知症対応力向上研修	<p>認知症への理解を深めるとともに、認知症者への対応等について、関係者の共通理解を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テーマ「認知症における精神科医療と地域の連携」 ○ 話題提供 ・「地域包括支援センターの立場から」 矢巾町地域包括支援センター 所長 吉田 均氏 ・「精神科訪問看護の立場から」 訪問看護ステーション結いの手 飯嶋 純一氏 ○ 指定討論 「精神科医の立場から」 精神保健指定医 遠藤 仁 先生 ※岩手県精神保健福祉センター所長 ○ まとめ 岩手県基幹型認知症疾患医療センター 石塚 直樹先生 ○ 全体コーディネート 岩手県基幹型認知症疾患医療センター 赤坂 博先生 	紫波町・矢巾町内の医師、歯科医師、看護師、介護支援専門員等の医療・介護従事者、保健師、地域包括支援センター職員や行政職員等	74人 (会場参加) 29人 (Web参加) 45人	12月4日(水) 18時30分～20時 ケアセンター 南昌 南昌ホール ハイブリットにより開催
5 ACPに関する研修	<p>アドバンス・ケア・プランニングや意思決定支援について、住民や医療・介護関係者、民生委員等の理解を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講演 「アドバンス・ケア・プランニングについて一緒に考えてみましょう」 岩手医科大学医学部緩和医療学科 特任教授 木村 祐輔先生 ○ 座長 加藤胃腸科内科医院 院長 加藤 博巳先生(紫波郡医師会会長) 	紫波町・矢巾町内にお住いの方、医師、歯科医師、介護支援専門員等医療・介護関係者、民生委員等地域支援者、盛岡圏域に所在する基幹病院の職員等	65人 (会場参加) 41人 (Web参加) 24人	12月14日(土) 14時～15時30分 ケアセンター 南昌 南昌ホール ハイブリットにより開催

◇ 編集後記

やっとコロナ禍も過ぎ、忘年会等気分転換等に楽しめる時期がやって来たと思っておりましたが、年末からまたインフルエンザやコロナの流行が増えています。そのせいか医薬品、特に上気道炎に関連したものが再度不安定供給となり処方したいものが足りないなどと医療業界もまだまだ不安定な時期が続いております。

忘年会や新年会は、楽しめましたでしょうか。

学会や講演会等もまだハイブリッド開催も多いですが現地開催やその後の懇親会も増えてきて嬉しい限りです。

私も食べたり飲んだりが好きなので、いろいろなところに出向いて美味しいものを堪能したいと思っておりましたが、人が集まるところはリスクを考慮すると難しい部分もあります。ですが、人間の欲望は止められません。混んでいないところや、新しい店など SNS を駆使してあいつも変わらず食べ歩きを続けています。それらが明日への活力につながると信じています。

先生方の投稿（エッセイ・表紙の写真・絵画など何でも構いません）を随時お待ちしております。ご意見、ご要望がございましたら医師会事務局までお寄せください。

あいのの皮フ科クリニック 齊藤 恵



身の回りには危険がいっぱい! 以下に心当たりはございませんか?

- 水害・地震で建物に被害があった場合、補償されるの?
- 一年前に入院して完治。保険に加入できないの?
- コロナウイルスに感染した場合の補償はないの?
- 福利厚生を充実させる商品はないの?



少しでも気になることがございましたら、**保険部**へご相談ください。

岩手県医師会会員の方、いわて医協組合員の方、専用の割引制度あり

担当：鈴木・小原・目黒

TEL. **019-626-5550**
FAX. **019-626-3883**



いわて医師協同組合
IWATE MEDICAL COOPERATIVE ASSOCIATION
〒020-0024 盛岡市菜園二丁目8番20号 岩手県医師会館内

●発行 一般社団法人紫波郡医師会 発行責任者 加藤 博 巳
編集委員 早坂 朗
齊藤 恵

〒028-3614 紫波郡矢巾町大字又兵工新田第5地割335番地
TEL:019-611-2211 FAX:019-611-2216